

南丹市 新たな議会構成

◎委員長
◎副委員長

議会三役

議長 吉田 繁治
副議長 八木 眞
監査委員(議会選出) 井尻 治

常任委員会

(総務常任委員会)
◎西村 則夫
○高野 美好
橋本 尊文
中川 幸朗
矢野 康弘
仲村 学
外田 誠
八木 眞
吉田 繁治
(産業建設 常任委員会)
◎中井 榮樹
○小中 昭
大西 一三
川勝 眞一
藤井日出夫

(厚生常任委員会)

◎松尾 武治
○森 嘉三
仲 絹枝
森 爲次
末武 徹
川勝 儀昭
村田 憲一
谷 義治

議会運営委員会

◎谷 義治
○村田 憲一
村田 正夫
高橋 芳治
大西 一三
面村 則夫
中井 榮樹
松尾 武治
(広報特別委員会)
◎矢野 康弘

特別委員会

(環境対策 特別委員会)
◎藤井日出夫
○川勝 眞一
大西 一三
森 嘉三
外田 誠
面村 則夫
井尻 治
八木 眞

○仲村 学

大西 一三
小中 昭
中川 幸朗
中井 榮樹
川勝 儀昭

(基幹交通対策 特別委員会)

◎橋本 尊文
○矢野 康弘
高野 美好
末武 徹
中川 幸朗
仲村 学
中井 榮樹
松尾 武治

(少子化対策 特別委員会)

◎川勝 儀昭
○森 爲次
仲 絹枝
小中 昭
村田 憲一
高橋 芳治
村田 正夫
谷 義治

(議会活性化対策 特別委員会)

◎中川 幸朗
○末武 徹
高野 美好
中井 榮樹
村田 憲一
高橋 芳治
八木 眞
村田 正夫
谷 義治
(順不同)

要望書の受理

○違法伐採対策に係る宣言決議について(お願い)
世界各地で深刻化している違法伐採から森林を守るための宣言決議

《提出者》
社団法人京都府木材組合連合会
会長 辻井 重
京都府木材協同組合連合会
理事長 辻井 重
(敬称略)

陳情書の受理

○陳情書
上・下水道の設置を！
地下水の使用を余儀なくされているので、既に陳情した生活道路の建設と合わせて上下水道の建設を求める。
《提出者》
南丹市八木町
南地区自治会
会長 益田 莞爾
南丹市八木町栄町二丁目
区長 嶋村 益廣
他

「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情
「鳥獣被害防止特措法」関連予算が、野生鳥獣捕殺優先ではなく、鳥獣が帰れる広葉樹の自然の森の復元、鳥獣の侵入防止柵などの被害防除に使われること等の意見書の提出を求める。
《提出者》
日本熊森協会
会長 森山まり子
(敬称略)

▼総務常任委員会

3月3日
今議会より委員会の構成が替わり、一般行政、財政、情報化推進、地域振興、交通対策、税務、消防防災、教育、市営バス事業、土地取得事業など幅広い事務、事業の執行について、9名の委員心新たに真剣に取り組みを確認しました。

3月13日・14日・15日、18日・19日

今定例会に付託を受けました条例関係等18

議案、補正予算3議案、当初予算3議案について、審議を行いました。その中で、園部女性の館管理運営基金条例と、関連する補正予算において、男女共同参画社会構築の位置付や特定目的基金の必要性などについて審議し、更に20年度予算においては、職員人件費、電子入札、景観形成事業、山陰線複線化事業、税の共同化、耐震防火水槽、放課後児童育成事業、学校施設の耐震改修事業、市税の徴収、合併特例債など審議を行いました。今後の事務事業の執行については、関係団体等十分な説明を行い、市民が安心して暮らせる行政推進が必要であると指摘し、すべての議案を可決しました。

▼産業建設常任委員会



市道向山橋(美山町)

3月3日

本市も2年が経過し今議会の初日に、議会委員会条例により、8名の新たな委員が決まりました。本委員会の所管は、農業、林業、道路河川、土木、上・下水道、商工観光等、重大な責務と心新たに頑張ります。

3月13日・14日

付託されました8議案について慎重審議を行っ

た結果、市営住宅及び、特定公共賃貸住宅の設置管理に関する条例は、目的が同一のため関連議案として審議しました。また、道路路線の変更及び、道路路線の認定も美山町大野地区に関わる議案で、一つは、架け替え橋工事であり、一方は市道の認定であります。4議案は全員賛成で可決しました。残りの4議案に付きましては1議案が賛成多数で3議案は全員賛成で可決いたしました。

3月18日・19日

付託された5議案について慎重審議を行った結果、平成20年度南丹市一般会計予算は、賛成多数で可決しました。残りの特別会計4議案は、全員賛成で可決しました。

▼厚生常任委員会

3月17日、24日
両日にわたり、付託議案の審査を行いました。子育て支援、障害者医療に関する条例に対する市長の姿勢に対する質疑が多く、市長の出席をもとめました。代替え策などの説明がありました。が、いずれも改正しようとする施策とは、全く異質のものであり、市民部、福祉部は、国の施策に基づく事業が多いところへ、枠配分の弊害が集中したもので、一貫した子育て支援、障害者医療のシステムが定まらない時に、強硬な施策の転換をしようとする今回の改正を、市民の皆さんに、理解を求めるのは困難との判断で否決されたものと考えます。

し、子育て支援に対する市長の意気込みが、施策で大きく後退をしており、異例の4議案否決の結果となりましたが、子育て支援、障害者医療を後退させることなく、長期的なシステム構築に向けて、委員会の議論を高める必要があると考えております。

活動報告 常任委員会



JR 複線化工事(園部町内)



園部幼稚園